



平成29年度 高森町の「食育」への取り組み ～ 5つの目標にむけての各団体の行動目標 ～



	朝食の欠食割合の減少	肥満割合の減少	高血糖割合の減少	地産地消の割合の増加	食育を理解している割合の増加
食生活改善推進協議会	料理教室で朝食のことも取り上げる。	グループ内で学習を深める。	料理教室の実習時に、砂糖の使用について気を付ける。	料理教室の際、地元産物を使用する。	食改の料理教室へ会員以外の方を誘う。
みなみ信州農業協同組合	朝市の中で、数量限定で朝食の提供を行う。	保健師が所見ありの者に対して保健指導を行っていく。(1泊ドックのみ)	保健師が所見ありの者に対して保健指導を行っていく。	ゆうきと連携して、年間8～10回位の料理教室を開催する。朝市の開催(地元農産物の販売)。	市田柿のおやつづくり出前教室の協力、子どもの料理教室を行う。
子育て支援センター	8月に幼児親向け「朝食セミナー」を健康福祉課と開催する。	つどいの広場で季節の野菜などをおやつで食べる。	つどいの広場で季節の野菜などをおやつで食べる。	つどいの広場で季節の野菜などをおやつで食べる。シニア応援隊の皆さんと畑づくりや収穫を喜び合う。	食事のマナーを親子で学ぶ(そろりまで待つ、片づける、挨拶)。父と子の料理教室(12月実施予定)。
子育て支援センター利用者代表	欠食なしを周囲にも伝えていく。	砂糖や小麦も肥満につながることを伝えていく。	砂糖レスの食生活の方法を伝えていく。	地元産の物を購入する。	伝えられる範囲で、食育の大切さを伝えていく。
町立保育園	朝ごはんが体に良い働きをすることを配布物等を通して家庭に伝えていく。簡単な朝食レシピを伝えていく。	カウプ指数と肥満度を計測し、高い子に対しては必要に応じて家庭と連携をとり、対応を考え合っていく。	朝食の大切さを周知したり、正しい生活習慣を身に付けてもらえるよう伝えていく。ジュースや菓子のとり方に関して情報を発信する。	食材取引のある業者と話をし、高森町、下伊那産の食材を優先的に仕入れて頂く。	個々の発達に合わせ、家庭でも箸の持ち方、食器の持ち方など食事に必要な基本的習慣が身につくように働きかける。
私立保育園	朝食欠食児童の減少＝保護者の意識の向上。参観日などの保護者の集まる場にて、朝食の必要性について話をしたり、毎月のお便りなどにも記入して意識を高める。	身長・体重から肥満度や痩せの数値を割り出し、対象となるお子様の保護者の方には、栄養士や保育士から話をしていく。	給食便りを通して、伝えていく。	取引業者の方をお願いし、できる限り使用していく。	食育活動…野菜作り(年中・年長のクッキング保育、食べ物の働きについてのお話)を通して、食べる事への意欲・大切さを幼児期より育てていく。
中学校	年に1回の朝食の欠食調査を継続。欠食の生徒には個別に指導する。性教育などの時間を使って成長期における朝食の重要性やとり方を呼びかける。	年に5回の体重測定を行い、急激に体重が増加した生徒へ注意喚起。個別懇談を継続。	家庭科の授業で扱ったり、血液検査による結果から注意喚起を行ったりする。		委員会の活動として、中学生に理解を広める。
南小学校	保健指導で朝食の大切さについて指導していく。	夏休みの保健師さんとの健康相談や12月の懇談会で指導したり、保健指導で食生活の指導をしていく。	保健指導でおやつや飲み物について指導したり、6年の血液検査後の指導をしていく。	柿のおやつ作り、豆腐作りを通して、地産について理解を深め、給食で地域の食品をとり入れる。	給食と保健で連携しながら、取り組んで食育を通して健康づくりができるようにしていく。
北小学校	朝食の内容を考える機会をつくっていく。～3つの栄養素が入った食事ができるように～	楽しく体を動かしたり、自分の体のことを知る機会をつくっていく。	おやつを減らす工夫について、おやつが多くなならないことの大切さを伝えていく。	自分たちが畑で育てた野菜を食べ、地元産野菜のおいしさ、安全性に触れる。	子どもにとって必要な栄養・バランスを考えた食事の大切さを伝える。
学校給食センター	朝食欠食者を減らすために朝食に関する情報提供をする。(お便りでの情報提供・啓発、試食会での呼びかけ、子どもたちへの指導) 朝食の内容を充実させるのに参考となる食事を給食にも取り入れる。	給食が1食の食事の見本となるように提供していく。	給食が1食の食事の見本となるように提供していく。	高森産、飯田下伊那産の食材利用割合を増やす。(給食でできるだけ活用する)	新しい給食センターを通し、食育の普及を行う。
商工会	※				食育の理解が深まる様に町産業課と協力して会員宛に「食育に関する文書」を送付していく。
産業課	※			ゆうきとの連携を検討し、地産地消の増加につなげていく。	高森町産業課と商工会では、庁内の事業所(商工会員等)に対して、「経営者や従業員が必ず朝食を食べることで、仕事の能率アップを図る」主旨を年に1回呼びかけます。(※)
健康福祉課	朝食セミナーの開催(5月、7月、8月、11月)。生活リズムに加えた朝食の働きについて情報提供していく。(乳幼児健診・相談、生活習慣病予防健診後の授業、消防団健診、特定健診・ヘルススクリーニング)。保育園、小学校、中学校へアンケートの実施をする。	健診における身体測定の結果により集団および個別での健康相談・指導を実施する。(乳幼児健診・相談、生活習慣病予防健診後の健康相談、消防団健診、特定健診・ヘルススクリーニング・特定保健指導)	乳幼児健診・相談、生活習慣病予防健診後の授業で、砂糖の1日基準量を伝えていく。生活習慣病予防健診や消防団健診、特定健診・ヘルススクリーニングの結果からHbA1c5.6以上の方へ健康相談・指導を行う。高血糖の標語募集を行う。	乳幼児健診・相談の試食や離乳食教室で地元産野菜を使用する。離乳食で地元産野菜の使用をおすすめしていく。	広報や高森町ホームページ「たかもちまの食育」等で「食育」情報を載せていく。食育推進会議の開催。食育セミナーの開催等。